

實性寺 表千家茶道

11

月稽古 令和七年

開炉の茶

口切りの茶

- ◎ 碾茶
- 壺飾り
- 盆香合(運び)
- 初炭
- 濃茶
- 後炭
- 薄茶



壺飾り

碾茶

- 〔掛物〕 即中齋宗匠「松友」
- 〔茶壺〕 呂宋

口おおい 牡丹唐草金襴

- 〔花入〕 竹置筒 即中齋宗匠「末廣」

松摺漆丸

花 「吹上菊」「紅マンサク・西王母」

「ハシバミ・西王母」「紅妙蓮寺」「初嵐」

- 〔香合〕 千家独楽萩 新兵衛作

- 〔炭斗〕 ふくべ 了々齋前後軒所持

- 〔灰器〕 隅田川焼写 弘入作

灰さじ 南鐮

- 〔釜〕 万代屋釜 九代 浄元作

- 炉縁 真塗り 即中齋宗匠判箱 利齋作

五徳 中爪



了々齋前後軒所持



即中齋宗匠「松友」



弘入作



即中齋宗匠「末廣」



九代 浄元作



新兵衛作

〔風炉先〕

而妙齋宗匠「碧層々」 松月堂作

〔水指〕

伊賀焼耳付 惺齋宗匠箱「伏見」

〔茶入〕

因久山焼丸壺 遠州流箱

仕服

遠州緞子

〔茶碗〕

黒 碌々齋宗匠朱判即中齋宗匠箱 慶入作

替

せきじ・海老 即全作

〃

葛紅葉 即全作

〔茶杓〕

惺齋宗匠「千年」

〔薄茶器〕

一閑内朱中棗 即中齋宗匠判箱 一閑作

建水

酢桶 岡專作

蓋置

竹引切 即中齋宗匠

〔菓子器〕

紅葉 吉向作

〔干菓子器〕

紅葉 父作

菓子

「栗名月」「ゆきもち」「亥の子餅」 とらや製

干菓子

「如心玉」「いちよう」「松ぼっくり」

濃茶

猶有齋好「楽寿の昔」 柳桜園

薄茶

猶有齋好「清友の白」 柳桜園



即全作



即全作



惺齋宗匠「千年」



一閑作



岡專作



即中齋宗匠



吉向作



父作

◎ 開炉

〔碾茶〕

ゆっくりと早すぎないように回転数に注意しながら

〔壺飾り〕

口の切り方

〔盆香合〕

口の廻し方

〔初炭〕

白の廻し方

〔濃茶〕

拝見所望

〔薄茶〕

口封があるとき

〔茶〕

網がかかっているとき

〔茶〕

運びでの盆香合



松月堂作



惺齋宗匠箱「伏見」



遠州流箱



慶入作